

Press Release

三重県 アミューズメント企業初！

株式会社カーゾックが「三重県SDGs推進パートナー」に登録

ファミリー向けアミューズメント施設「NICOPA」などを東名阪で展開する株式会社カーゾック(本社 三重県鈴鹿市)は、2022年4月に三重県が実施する「三重県SDGs推進パートナー」に登録されました。アミューズメント企業としては、初めての登録となりました(2022年4月29日時点 当社調べ)。

＜三重県SDGs推進パートナー登録制度とは＞

三重県内における企業や団体等のSDGsに向けた取組を見える化し、県が後押しすることで、持続可能な社会の実現に向けた取組を広げていくことを目的とした制度です。株式会社カーゾックは、この度、第2期登録で三重県SDGs推進パートナーとして登録されました。



三重県SDGs推進パートナー
ロゴマーク

＜弊社の取り組みについて＞

■ 経営方針・目指す姿

創業以来追求してきた「遊びの楽しさ」を「遊びと学びの融合サービス」に拡げ、社会貢献し続けるために、サステナブル経営を実践いたします。また、業務の効率化と改善を推し進め、社員が生き生きと働けるよう職場環境の整備を推進します。

■ 重点課題と取り組み方針

1. ICTによる運營業務のサービス向上

バックアップシステムの充実化と業務改革を進めることで、従業員の接客レベルと顧客満足度の向上を目指します。

2. 環境配慮型の明るい店舗づくり

店舗照明のLED化とゲームマシンの省エネ化を積極的に推進し、使用電力の低減と照度アップを目指します。

3. 木と森の体験プログラムの普及

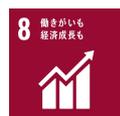
木と森の体験施設「kiond」で、地元産木材を使ったワークショップや森のアクティビティなどの体験プログラムを充実させ、木と森に対する体験教育を普及させます。

4. 働きやすい職場環境の整備

デジタル技術活用による業務効率化と社員間の連携強化によって、ワークライフバランスの実現に取り組みます。

5. リスクマネジメント体制の確立

災害やトラブルに強い持続可能な組織を目指して、BCP(事業継続計画)の見直しや、コンプライアンス意識の浸透などリスクマネジメント体制の確立・強化に取り組みます。



《株式会社 カーゾックについて》

昭和46年4月に屋上遊園地の保守・運営を行う会社として設立。現在は、ショッピングセンター内で室内遊園地などファミリーアミューズメント施設を運営。東名阪エリアに41店舗を出店しています。また、2021年6月より新規事業である体験参加型施設事業1号店を三重県多気町に出店いたしました。

直近売上高	株式会社カーゾック	30億2500万円
	旧株式会社ファンクエスト(2021年6月合併)	10億2800万円